



## 新型コロナの真相

「小冊子」Vol.118 の案内を出してから今日まで原稿の入稿が遅れているのには理由がある。

それは「はじめに」でどうしても新型コロナの真相を明らかにしないと世界の新秩序に至るまでの解説が不十分になるので真相の一部始終を明らかにすれば私の命にかかわることは分かっているが、一部どうしても明らかにしたいことがあり、許可を求めていたが内容のやり取りに時間がかかり遅れてしまった。(休み明けには入稿する予定)

私が 2019 年 11 月チューリッヒでセミナー(プライベートバンカーの集まり)を行った時点では新型コロナの名前は世界に存在しなかった。騒ぎとなったのは同年 12 月 8 日、真珠湾攻撃の記念日に武漢で発生して以来新型コロナを知らない人がいなくなった。

私は 2019 年 9 月の時点で人工ウイルスが武漢で発生し、やがてニューヨークをはじめアメリカの大都市で感染が拡大することを、私の友人のジョン・ホップキンス大学教授の言動から察していた。同大学はコロナウイルス研究の権威であり、今回の新型コロナの診断、治療、予防に関するガイドラインを決める米国感染症学会(IDSA)や米国疾病予防管理センター(CDC)などに大きな影響力があり、又今日毎日 CNN 等で発表される新型コロナ情報データ源になっている。

私が常に言っていることは、①「新型コロナは遺伝子組換え人工ウイルスである」、②「新型コロナ感染者・死者数は政治的捏造」、③「感染死亡者数の 90%以上は血管障害、呼吸器障害、糖尿病等々で、新型コロナは 3%以下」である。

①ノーベル賞受賞細菌専門学者やほとんどの細菌学者が証明しているので異論の余地はない。

②新型コロナ用に特別に用意された IDSA や CDC による診断、治療、予防ガイドラインによるもの。(人の咽頭には無数の細菌が付着しているが、1,000 個くらいでは検査確認出来ないし、全く感染しないから、新型コロナウイルスが付着しているかどうかを確かめるためには採取した細菌を 40 倍に増幅しなくてはならない。無視すべき 100 や 1,000 の新型コロナウイルスを億単位に増幅して初めて付着確認が出来る。(2 x 2 = 4, 4 x 4 = 16 と言った要領で 40 倍すると億単位になる)

このガイドラインによって付着していても何ら問題の無い新型コロナウイルスを陽性に変えているのである。

③新型コロナ陽性患者は、カルテに新型コロナと書かれていればコロナが死因にすることに決められていて、ガイドラインを守れば補助金対象になるから病院はわざわざ別の本当の死因の報告はしない。アメリカでの心疾患のみの年間死亡者数は 20 万人だから他の疾患を加えれば現在の半年で 20 万人は妥当な数字である。新型コロナは毎年やって来るインフルエンザに加わったものだが死亡率は 3%以下で取るに足らない細菌であるが、40 倍もバブル化して陽性を増やしているのが現状。

FRB の無制限量的金融緩和で株価が史上最高値を更新しているのとまったく同じことである。これで意図的に仕組まれた株式市場バブルと新型コロナ感染バブルを演出している犯人は同一であることが分かる。この世界規模の大掛かりな「大嘘」は誰による、何の為の仕業なのか。

2001 年 9 月 11 日 WTC(世界貿易センター)を爆破したのはビル解体業者であることを事前に知っていた私が新型コロナの真犯人を知らないわけがない。

「小冊子」Vol.118 の「はじめに」で、私の命に支障のない範囲内で新型コロナ真犯人につき真実を述べることにした。

「小冊子」Vol.118 はどんなことがあっても 11 月 3 日の米大統領選まで手の届くところへ置いて欲しい。皆様の為ですから。